



むかしはなしの世界が
 生きているこの里で、
 積み重ねてきた 遠い近い 過去のものがたりと
 積み重ねてゆく 近い遠い 未来のものがたりを
 今日私たちは 結んでいきます。

小さな物語が今も生きる里

こつがる 古津軽



「津軽の鬼」、「古津軽伝承料理」、りんご畑の中をトコトコ走るローカル線「弘南鉄道」など、古き良き津軽ならではの信仰や暮らしぶりが感じられ、小さな物語が今も生きている里「古津軽」。中南管内7市町村では、これらを「古津軽」として、観光ブランド化に取り組んでいます。

平川市にも、尾上地域の庭園文化をはじめとした独自の文化があり、現在に至るまで大切に守られてきた物語があります。

詳しくは、「古津軽」ホームページで散策マップとともに紹介しておりますので、ぜひ、お近くの古くて新しい「古津軽」を訪ねてみてください。

津軽を代表する神社のお祭り「猿賀神社の宵宮」や「こいこい神社」、女子旅にぴったりの「平川のグルメ」など、写真映えするスポットも多数ご紹介しています。

<https://www.kotsugaru.com/>

※HPは3月18日頃からご覧いただける予定です。



[問合せ] 中南地域県民局地域連携部

☎32-2407



今月の表紙

Cover of this month

今月の表紙は、尾上地域の田んぼで見つけた白鳥の群れです。例年、春が近づくとつれて市内でも見かけるようになる光景です。遠い北国へ帰る途中で、羽を休めているところでしょうか。秋ごろに越冬のために飛来した白鳥は、春が近づいてくると生息地であるシベリアへ向けて飛び立ちます。流行りものが猛威を振る昨今ですが、穏やかな春がくることを願います。

広報ひらかわ No.171 2020年3月15日発行

発行 平川市
 編集 総務部総務課広報広聴係

〒036-0104
 青森県平川市柏木町藤山25番地6
 TEL 0172-44-1111 (代表)
 FAX 0172-44-8619
 HP <https://www.city.hirakawa.lg.jp/>
 作成部数 11,300部
 印刷経費 1部あたり28円



QRコード